

北九州マラソン2025 について

1 大会概要

- (1)開催日時 令和 7 年2月16 日(日)
- (2)主催 北九州市、(一財)北九州市陸上競技協会
- (3)種目・参加人数
 - マラソン 10,850人
 - ペアリレーマラソン 250組500人
 - ファンラン 800人
 - 20.7km マラソン 250人
- (4)制限時間 6時間
- (5)コース 北九州市役所前をスタートし、八幡東区東田・戸畑駅前・東港を
通って、門司港を折り返し、北九州国際会議場前をフィニッシュと
する。

2 申し込み状況

種目(定員)	2025 出走予定者数	2024 出走予定者数	2024 出走者数
マラソン (10,800人)	11,399人	11,296人	9,919人
ペアリレーマラソン (250 組 500 人)	241組482人	282組564人	269組538人
ファンラン (800 人)	807人	756 人	708人
新規 20.7 kmマラソン (250 人)	756人	130 人 ※	118人 ※
合計	13,444人	12,746人	11,283人

※ 2024大会は「ウィメンズ 20.4」(定員 50 人)



3 重点方針《主な取組み》

ランナーの満足度向上

1 ビギナーランナー・子育てランナーの取り込み

- (1) 前回実施した女性限定の「ウイメンズ20.4」を男女問わず参加できる「20.7km マラソン」へ移行(定員 250 人に対して900 人を超える応募があった)
- (2) 子育て交流プラザ「元気のもり」での託児サービスを実施

2 出走枠の見直し

当大会でおなじみの給食品等の詰め合わせをお礼品とした「ふるさと納税(スポーツ振興ランナー)枠」の拡充

3 参加記念 T シャツの希望有料制

参加記念 T シャツの希望有料制を継続(購入希望者 44.1%)



4 大会ランナー受付の拡充

- (1) 大会前々日(金曜日)受付を事前申込不要で実施
- (2) ふるさと納税(スポーツ振興ランナー)枠申込者への郵送受付を新設

5 SNSを活用した情報発信

ランナーやボランティアの募集に YouTube や Instagram を活用

6 おもてなしフードの充実

- (1) 小倉牛の継続
- (2) エイドステーションでの給水・給食の継続
- (3) 全ランナーへのマックフライポテト無料券配布(協賛提供)



「見る人」「支える人」も満足できる大会運営

1 応援イベントの実施

コース沿道の応援スポットで実施する「フレフレ!ガンバレ!!応援ステーション」の継続

2 有名・著名なゲストの招聘

北九州市観光大使の前田佳織里さんをはじめ、多彩なゲストや実業団ランナーを招聘

3 横断歩行者の対策

横断可能なタイミングで横断希望者を安全に横断させるため、乱横断の多い交差点に市職員を配置

4 若きリーダー(ボランティアリーダーなど)の養成

若いリーダーの育成促進として、ボランティアリーダーを希望する意欲ある若者に対し、資格取得のための研修受講料を補助

5 併催イベントの開催

あさの汐風公園においてキッチンカー出店や肉食恐竜祭を開催



応援ステーション



肉食恐竜祭

エコフレンドリーな大会の実現

1 紙コップの削減

紙コップの削減を図るため、マイカップチャレンジを実施

2 食品ロスの対策

- (1)余った給食を子ども食堂などに提供
- (2)協賛提供のミールクーポンをボランティアに配布し、弁当の廃棄ロスを削減
- (3)キッチンカーの出店団体に、プラスチック容器不使用など環境への配慮を呼びかけ

3 廃材の活用

「入賞者トロフィー」に北九州市産の木材(端材)を活用

4 募集案内や開催案内等のペーパーレス化

参加者宛の紙資料を電子化するなど、ペーパーレス化を推進

5 持続可能な大会に向けた収入の確保

協賛セールスの強化による新規協賛企業の獲得

2025大会のゲストについて

【大会ゲスト】 君原健二氏、増田明美氏、渋井陽子氏

【スペシャルゲスト】 前田佳織里氏（北九州市観光大使、声優）

【ゲストランナー】

<フルマラソン>

池内彩乃氏(デンソー女子陸上長距離部)

<20.7kmマラソン>

今田麻里絵氏（大分キャノンアスリートクラブ コーチ）

<ペアリレーマラソン>

西田たかのり氏(タレント)

【招待選手】

北島寿典氏（希望が丘高校駅伝部コーチ）

前田佳織里氏



君原健二氏



増田明美氏



渋井陽子氏



池内彩乃氏



今田麻里絵氏



西田たかのり氏



北島寿典氏

